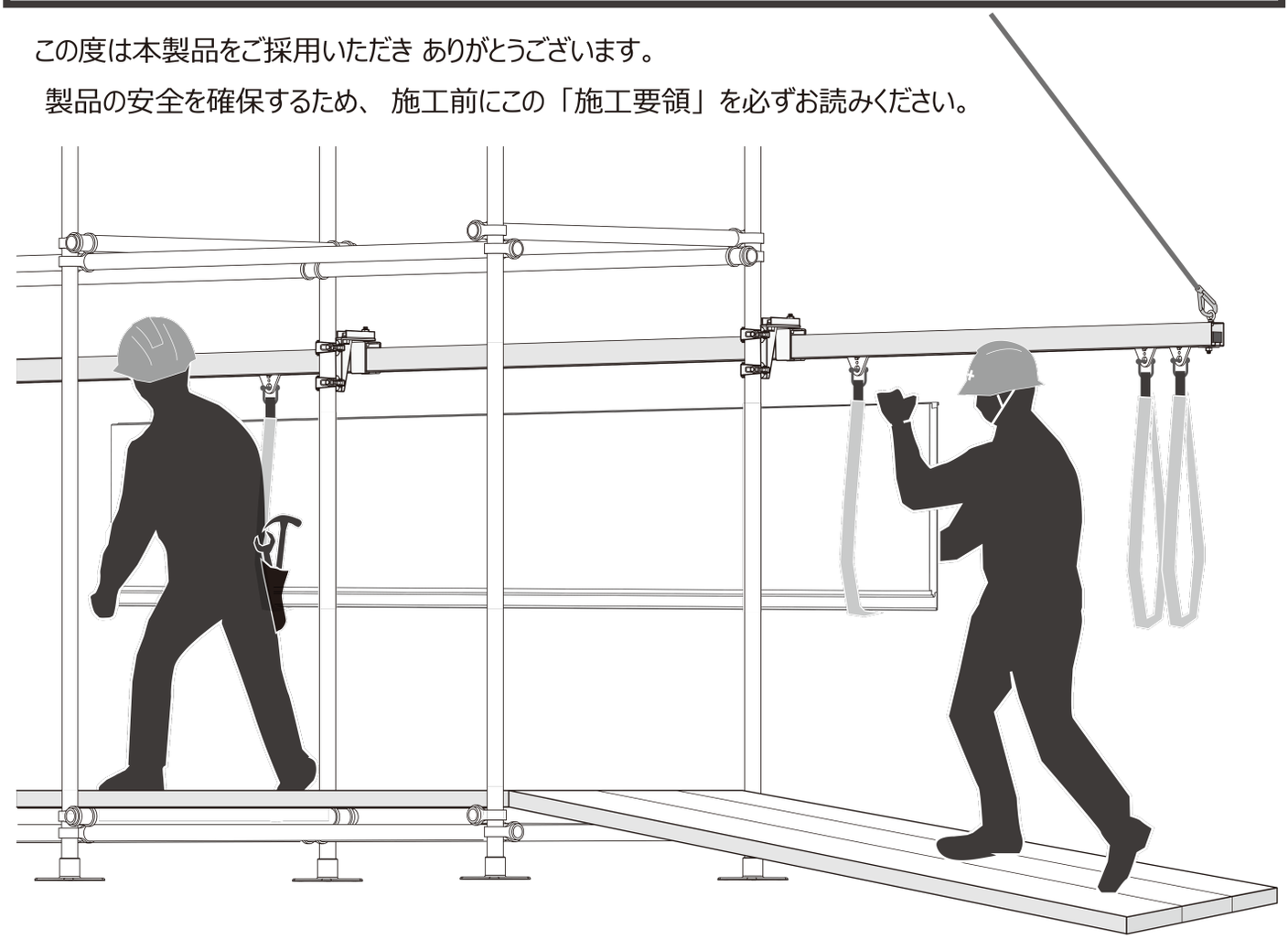
資材搬送システム **ラクイドー**

施 工 要 領 書

この度は本製品をご採用いただき ありがとうございます。

製品の安全を確保するため、 施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。



— 目 次 —

施工上の注意 ―――――――――――――――――――――――――――――― P1

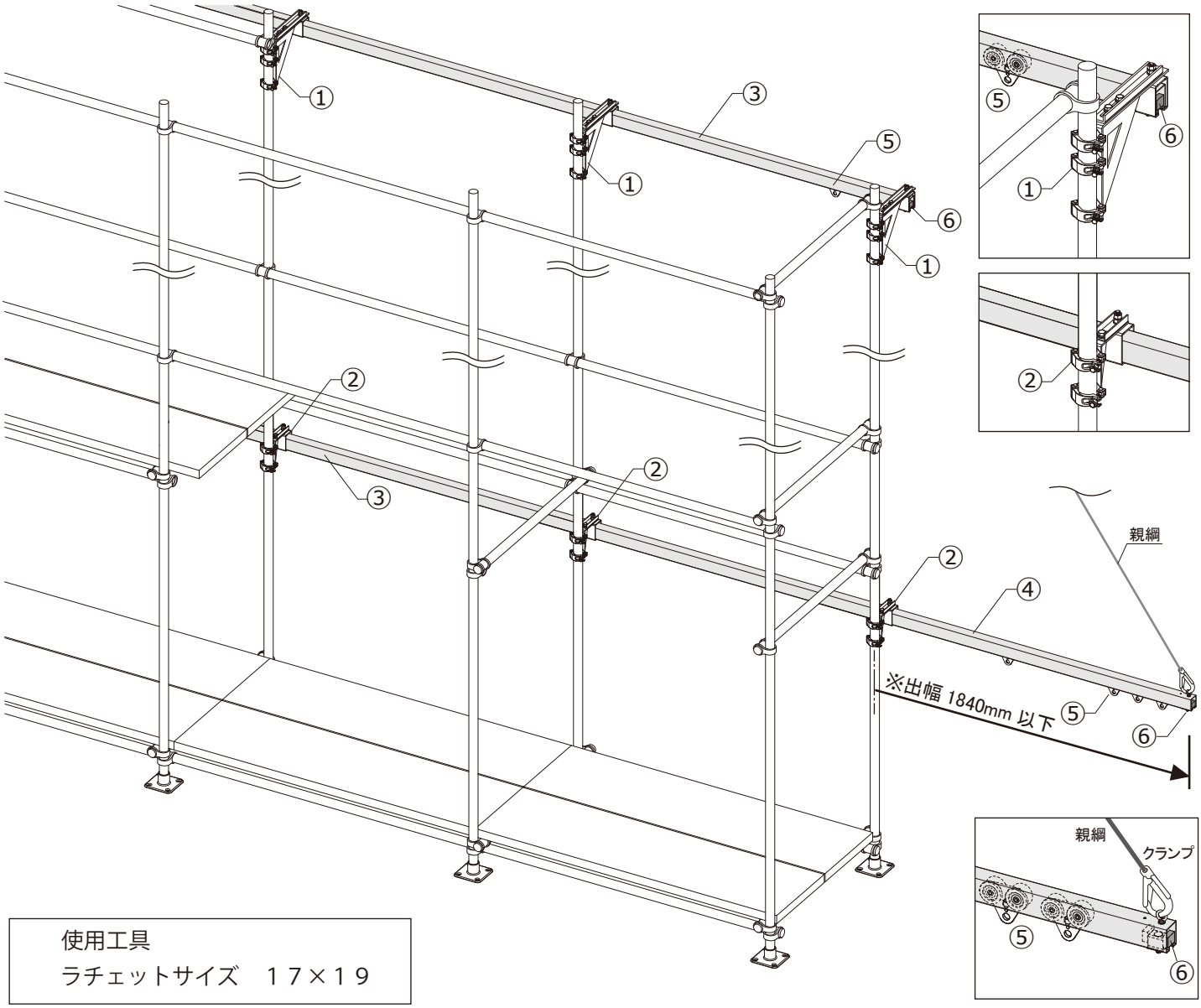
部材名称 ―――――――――――――――――――――――――――――― P2

施工手順 ―――――――――――――――――――――――――――――― P3～P6

施工後の確認事項 ―――――――――――――――――――――――――――― P7

株式会社 松栄ルーフ
SHOEI ROOF

■ 部材名称



使用工具
ラチェットサイズ　１７×１９

番号	部材名	備考
①	ブラケット（大）	ホイスト取付用 (上層階) 兼 資材パネル運搬用
②	ブラケット（小）	資材パネル運搬用 (下層階)

番号	部材名	備考
③	レール	L=1820 / 3640
④	端部レール	L=3640 ※クランプと親綱は 別途購入してください。
⑤	複車	耐荷重 : ７０ｋｇ （１個吊当り） ※スリングは 別途購入してください。
⑥	戸当り（ゴム付き）	

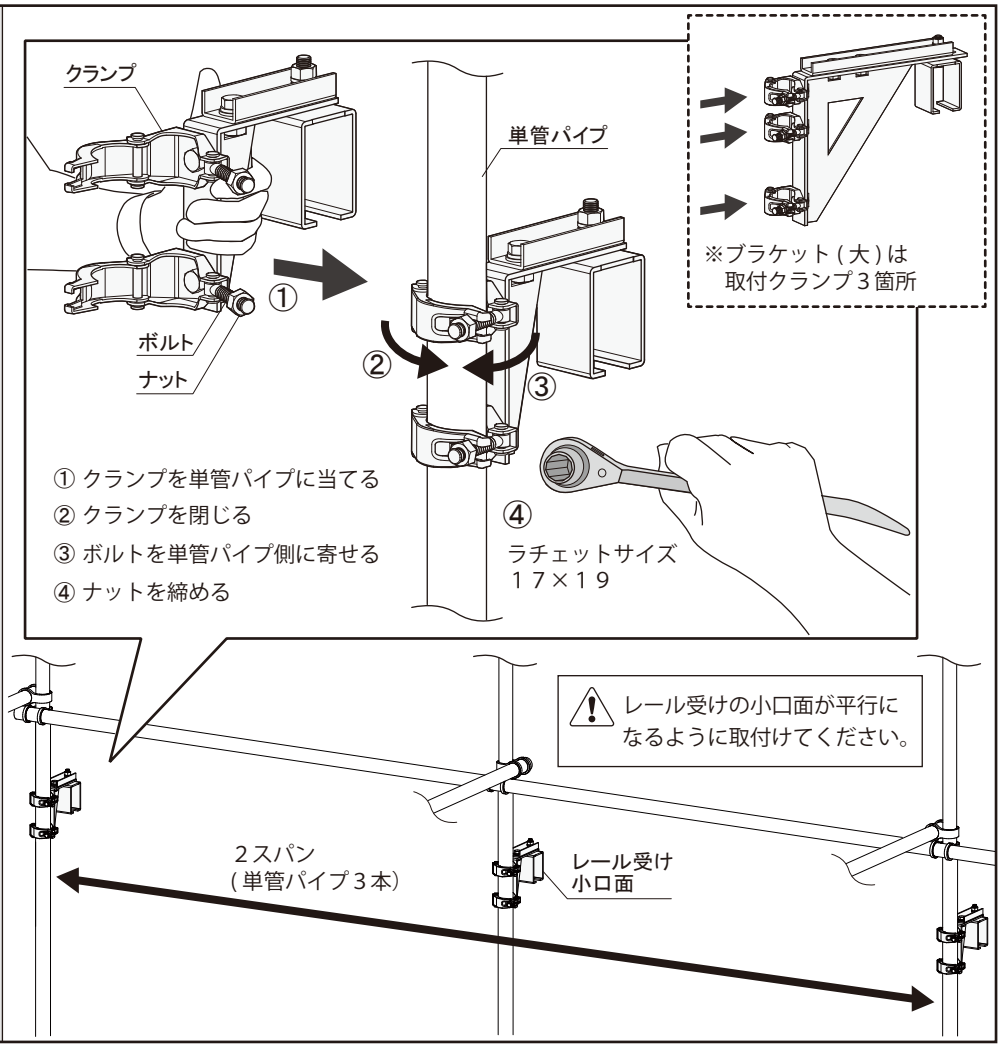
■ 施工手順

1

単管パイプにブラケットを取付けます。
・図はブラケット (小)
・ブラケットの取付方法は
　(大)(小) 同じです。

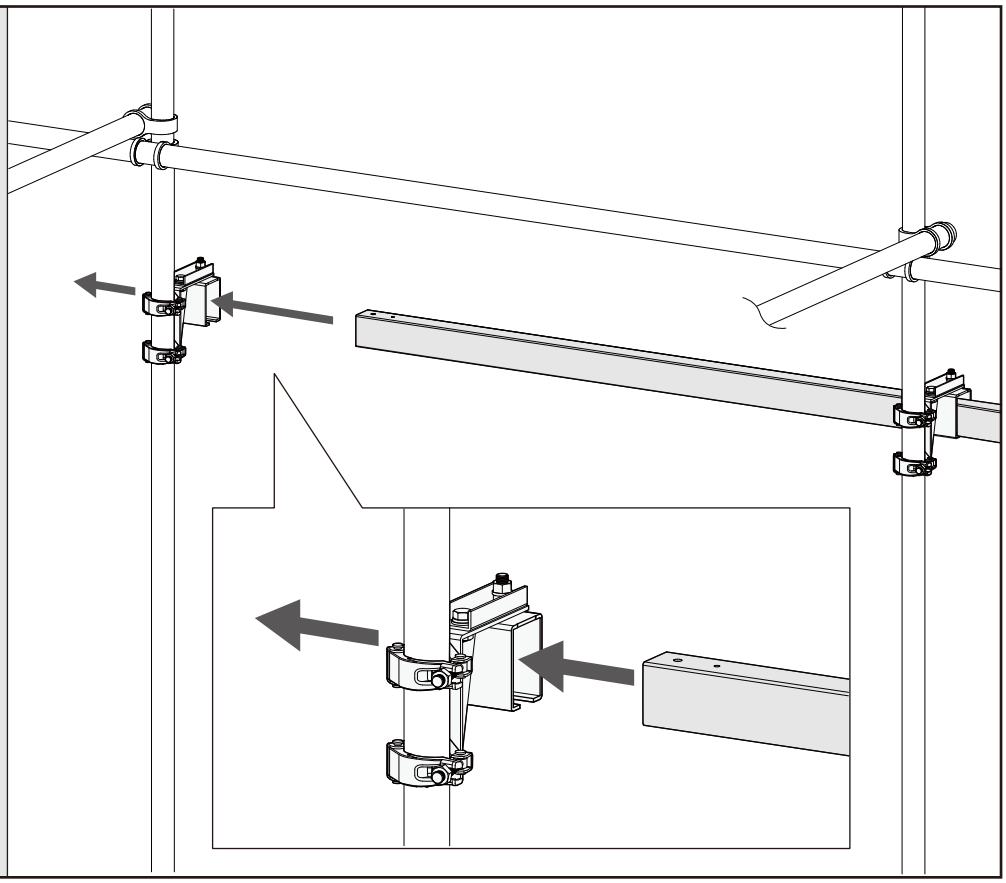
２スパン（単管パイプ３本）それぞれにブラケットを取付けます。

⚠
ネジ山がつぶれた場合は速やかに新しいクランプに交換してくださ。



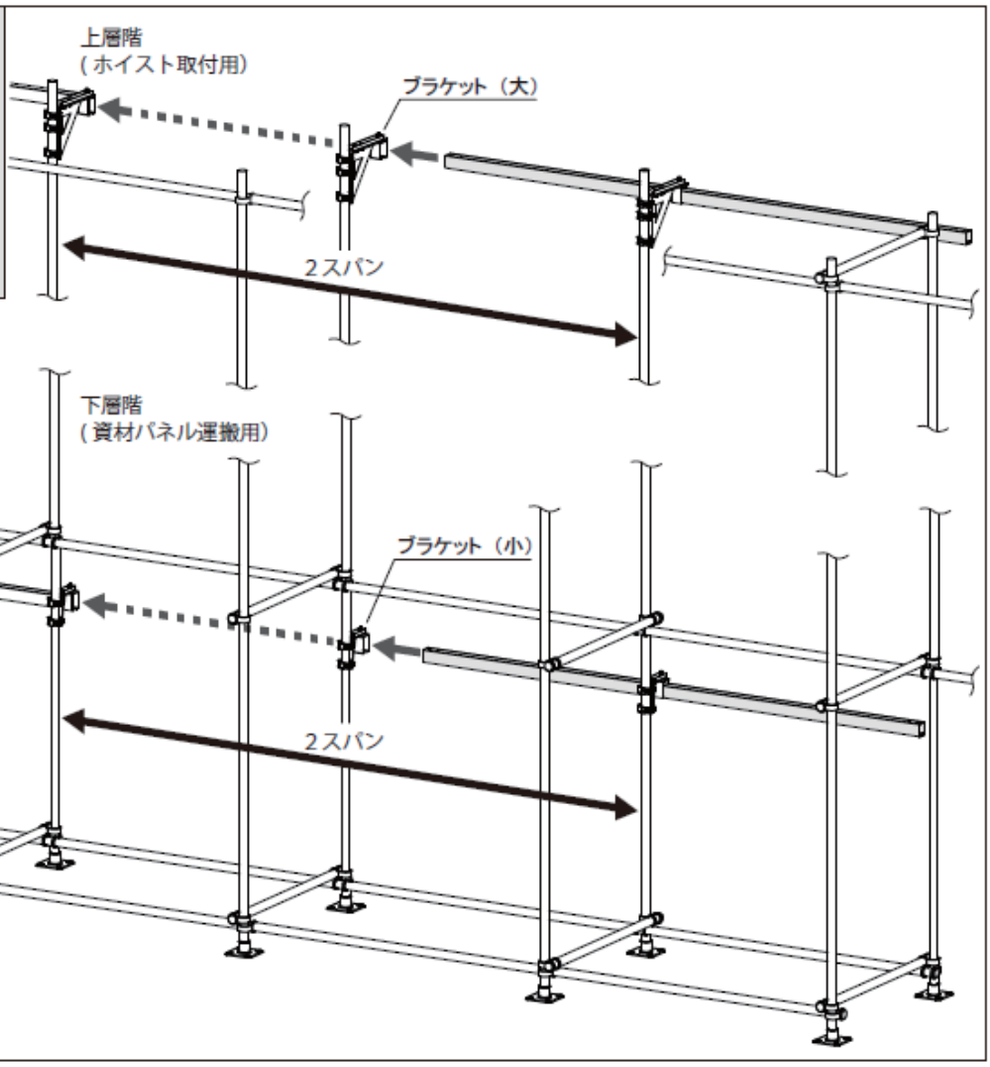
2

ブラケットのレール受け部にレールを通します。



3

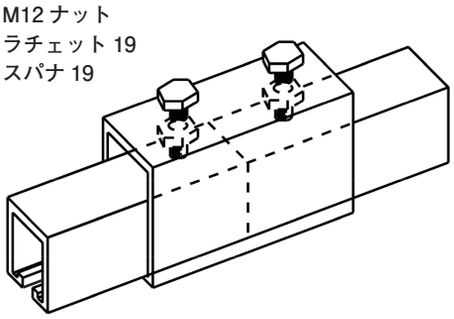
次の２スパン分を
施工手順　1　2　に従い
取付けます。

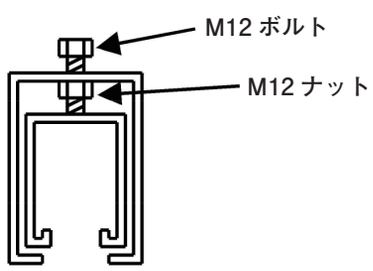


4

レールの端部を
ブラケットの継受下部分に
固定します。

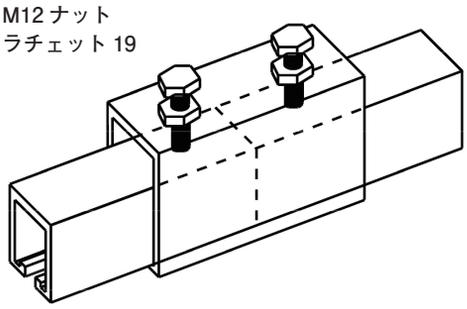
ナットを溶接しない場合に必要な物
M12 ボルト 35mm~45mm
M12 ナット
ラチェット 19
スパナ 19

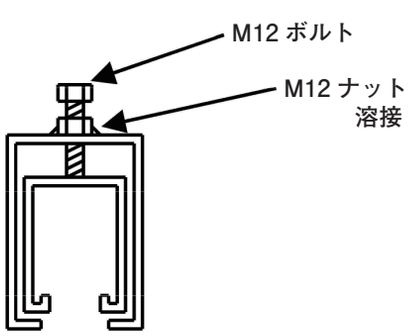




下のナットをスパナ等で押さえて
ラチェットでボルトを回しハンガーレールを
適度に押さえ込む

ナットを溶接する場合に必要な物
M12 ボルト 35mm~45mm
M12 ナット
ラチェット 19

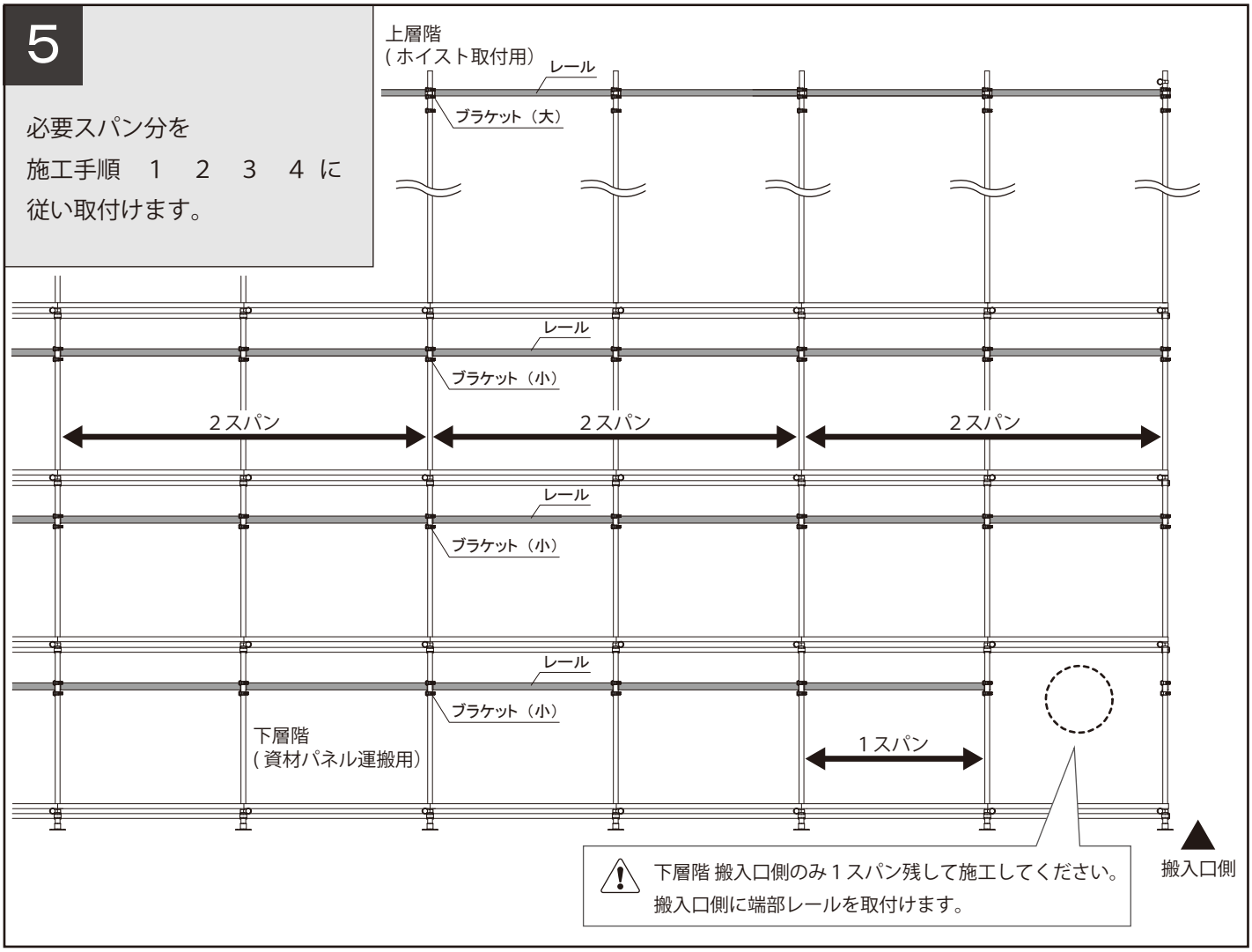




ラチェットでボルトを回しハンガーレールを
適度に押さえ込む

5

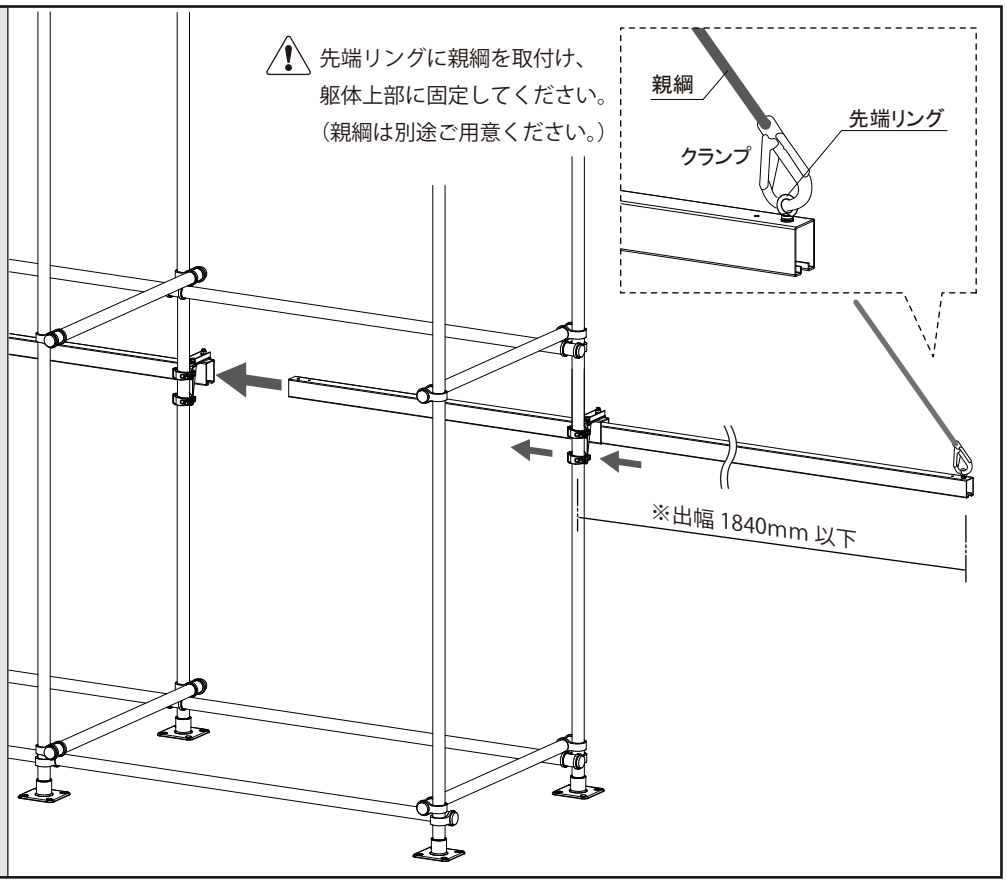
必要スパン分を
施工手順　1　2　3　4 に
従い取付けます。



6

搬入口側より端部レールを
挿入し、搬入口側より２本目の
ブラケットに取付けます。

※端部レールの出幅は
　１８４０mm以下になります。
※先端リングに親綱を取付け、
　躯体上部に固定してください。



7

レベル、上下、左右を
確認し、調整します。

重 要

⚠ レールが水平になるよう
取付位置を調整してください。

糸

ブラケット（大）

調整プレート

ナット

ブラケット（小）

調整プレート

ナット

《 ブラケットの出幅調整 》

ナットを緩め、調整プレートをスライドさせて調整。
調整後ナットを締める。

8

複車を必要数挿入し、
レール両端部に戸当りを
取付けます。

重 要

戸当りは複車脱落防止のために必ず取付けてください。

⚠ ・レール両端部に必ず取付けてください。
・ナットをしっかりと締めてください。

取付完了

■ 施工後の確認事項

部材名	確 認 項 目	対 策
レール ブラケット	□ レールは水平になるように取付けられているか。 【正面図】 レール ブラケット レールが傾いている	▶ ブラケットの取付高さ位置を調整してください。
	□ ブラケットは平行に取付けられているか。 出幅は揃っているか。 【平面図】 レール ブラケット 調整プレート 出幅が揃っていない ブラケットが平行に取付いていない	▶ ブラケットを平行に取付け、出幅を調整してください。 P6 施工手順7 《ブラケットの出幅調整》 をご確認ください。
戸当り	□ レール両端部に戸当りは取付けられているか。 戸当り 戸当り 複車が脱落する恐れがあり危険です。	▶ P6 施工手順8 に従い戸当りを取付けてください。